

令和7年度 新規採択希望

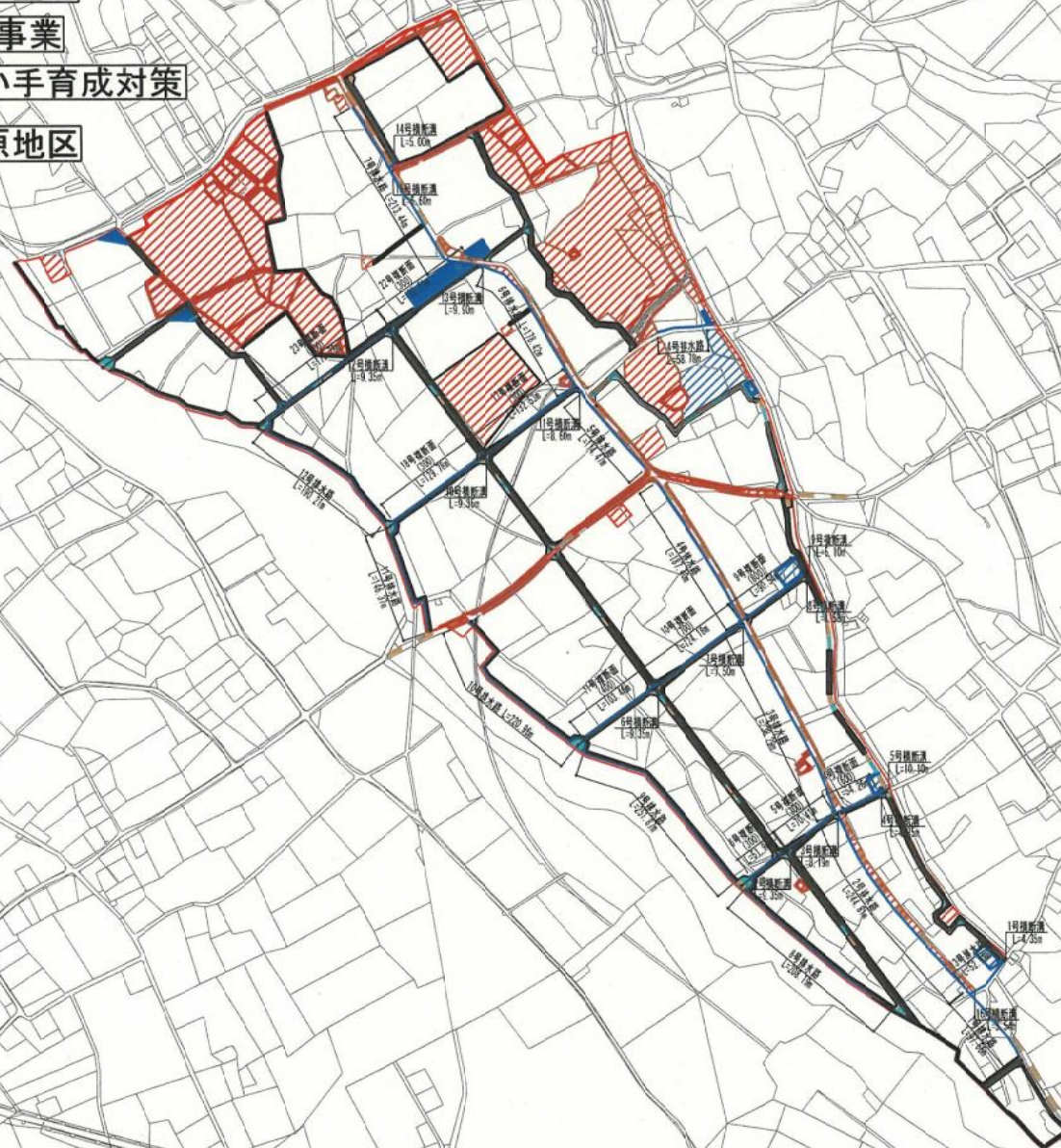
水利施設等保全高度化事業

畑地帯総合整備型 担い手育成対策

沖縄県 宮古島市 瓦原地区

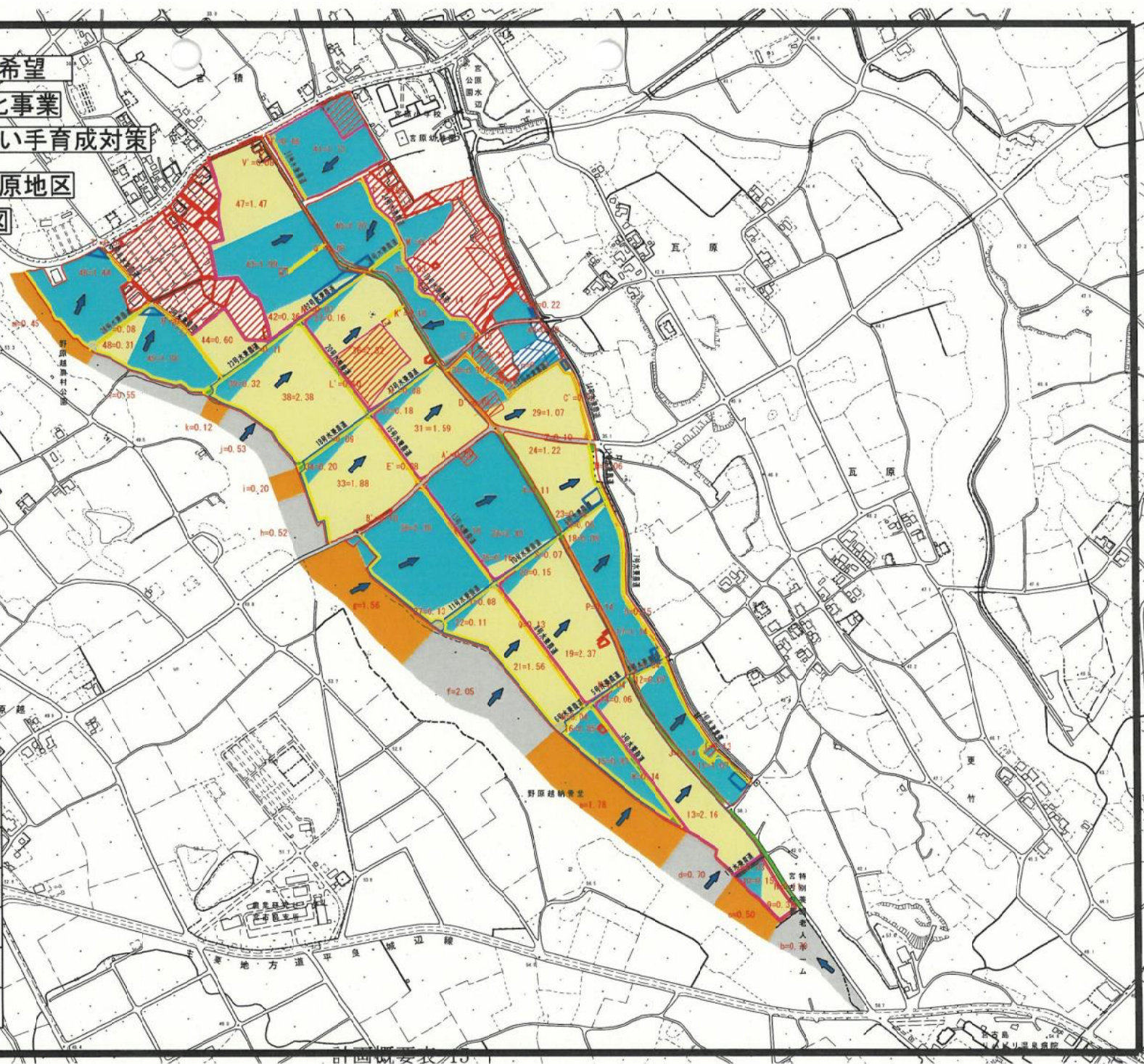
排水計画平面図

凡 例	
	地区界
	除外地
	区画番号 区画面積
	ほ場
	農道・耕作道
	水兼農道
	排水路
	浸透池
	沈砂池
	石積
	グリーンベルト
	既設道路



令和7年度 新規採択希望
 水利施設等保全高度化事業
 畑地帯総合整備型 担い手育成対策
 沖縄県 宮古島市 瓦原地区
 計画排水系統図

凡 例	
	地区界
	除外地
	沈砂池等
	地区内流域界
	地区外流域界
	流出方向



令和7年度 新規採択希望

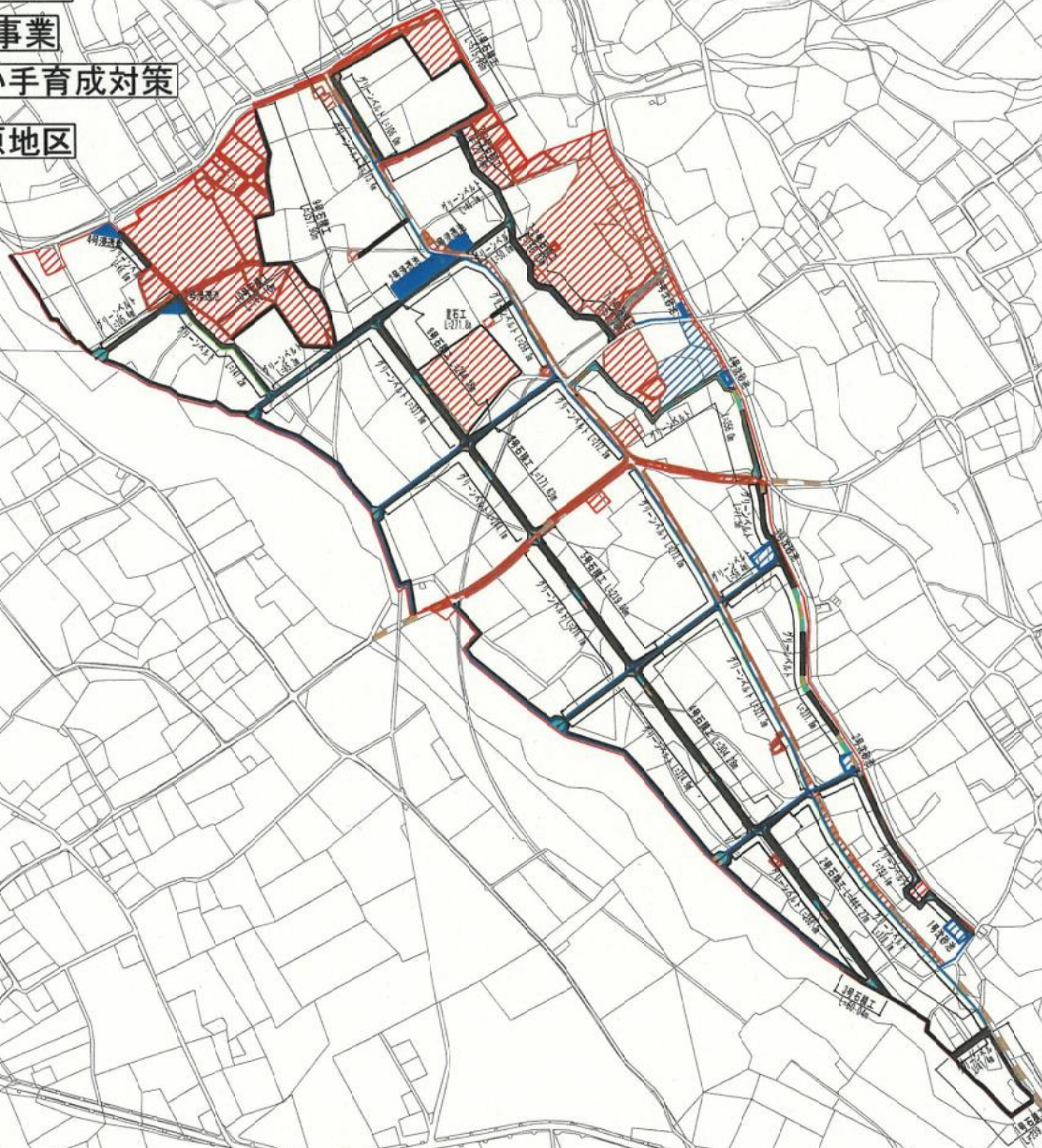
水利施設等保全高度化事業

畑地帯総合整備型 担い手育成対策

沖縄県 宮古島市 瓦原地区

防災計画平面図

凡 例	
	地区界
	除外地
	区画番号 区画面積
	ほ場
	農道・耕作道
	水兼農道
	排水路
	浸透池
	沈砂池
	石積
	グリーンベルト
	既設道路



第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効)×延長 (m) (m)		構 造	既設道路との関係	備 考
1号水兼農道	4.5	52.0	アスコンt=4cm		
2号水兼農道	4.5	284.8	アスコンt=4cm		
3号水兼農道	4.5	241.3	アスコンt=4cm		
4号水兼農道	4.5	54.9	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
5号水兼農道	4.5	71.6	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
6号水兼農道	4.5	63.4	アスコンt=4cm		
7号水兼農道	4.5	274.5	アスコンt=4cm		
8号水兼農道	4.5	240.5	アスコンt=4cm		
9号水兼農道	4.5	84.6	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
10号水兼農道	4.5	124.0	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
11号水兼農道	4.5	109.2	アスコンt=4cm		
12号水兼農道	4.5	97.0	アスコンt=4cm		
13号水兼農道	4.5	192.2	アスコンt=4cm		
14号水兼農道	4.5	135.0	アスコンt=4cm		
15号水兼農道	4.5	132.3	アスコンt=4cm		
16号水兼農道	4.5	233.1	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
17号水兼農道	4.5	134.5	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
18号水兼農道	4.5	138.7	アスコンt=4cm		
19号水兼農道	4.5	205.1	アスコンt=4cm	市道野原越19号線に接続	
20号水兼農道	4.5	183.4	アスコンt=4cm		
21号水兼農道	4.5	62.4	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
22号水兼農道	4.5	126.7	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
23号水兼農道	4.5	187.6	アスコンt=4cm		
24号水兼農道	4.5	128.3	アスコンt=4cm		
25号水兼農道	4.5	162.7	アスコンt=4cm		
26号水兼農道	4.5	122.3	アスコンt=4cm		
27号水兼農道	4.5	53.7	アスコンt=4cm		
28号水兼農道	4.5	115.5	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
1号耕作道	4.0	234.8	コンクリート舗装t=10cm		
2号耕作道	4.0	251.7	コンクリート舗装t=10cm		
3号耕作道	4.0	220.4	コンクリート舗装t=10cm		
4号耕作道	4.0	148.7	コンクリート舗装t=10cm		
5号耕作道	4.0	189.9	コンクリート舗装t=10cm		
6号耕作道	4.0	185.8	コンクリート舗装t=10cm		
7号耕作道	4.0	156.8	コンクリート舗装t=10cm		
進入路-1	3.0	30.8	コンクリート舗装t=10cm		
進入路-2	3.0	36.3	コンクリート舗装t=10cm		
合計	5,466.5				

(2) 索道

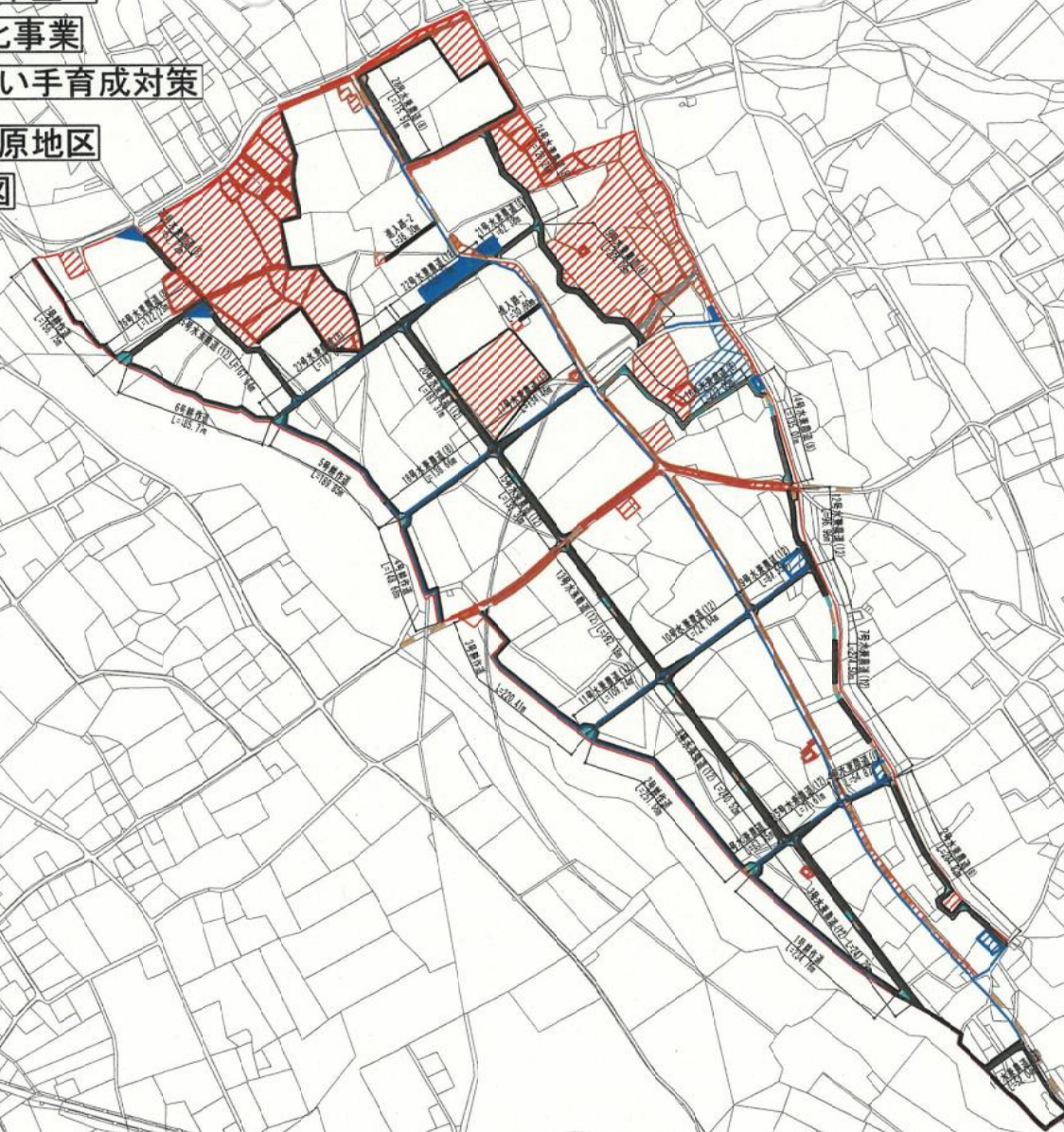
(第12表－2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 {別紙 道路計画平面図 参照 }

令和7年度 新規採択希望
 水利施設等保全高度化事業
 畑地帯総合整備型 担い手育成対策
 沖縄県 宮古島市 瓦原地区
 農道計画平面図

凡 例	
	地区界
	除外地
	ほ場番号 ほ場面積
	ほ場
	農道・耕作道
	水兼農道
	排水路
	浸透池
	沈砂池
	石積
	グリーンベルト
	既設道路



第6節 農用地造成計画 該当なし

1. 農用地造成計画 該当なし

(1) 農用地造成計画

(第13表－1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良 該当なし

(2-1)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	面積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	pH		置換酸度 (Y ₁)
			H ₂ O	KCl	

(2-2)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 該当なし

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	備考 (m^3/s)

3. 貯水池 該当なし

(2-1)

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km^2)		計画洪水量 (m^3/s)	貯水量 (千 m^3)		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備考

4. 洪水調節検討 該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画 該当なし

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
200 × 100	35.3	40.1	88.0	-	
計		40.1			

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
35.3	表土は農家が長い年月をかけて培ったものであり、収量や営農作業に大きな影響を及ぼすものであるため。	60	211,800	

(3) 末端道水路配置図 {別紙 道路計画平面図 及び 計画排水系統図 参照 }

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表-3-1)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{リットル}}{\text{s}}/\text{ha}$)
	事 業 名					
			計			
計						

(2-2)

(第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
計			

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3. 客 土 該当なし

(2-1)

(第16表－4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壤統(区)分	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2)

(第16表－4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土 壌 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 ($m^3/s/ha$)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表－5－1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表－5－2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m/s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表－5－3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

1. 洪水吐改修計画 該当なし

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

1. 貯水池 該当なし

(2-1) (第17表-1)

名 称			
堤 体	形 式	流域面積(km ²)	
		直接	間接
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	

(2-2) (第17表-1)

位 置						
堤高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m ³)		備 考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工 該当なし

(2-1) (第17表-2)

名 称				位 置	
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		計	取水位 (m)
		固定部	可動部		

(2-2) (第17表-2)

名 称			備 考
形 式	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	

3. 揚水機 該当なし

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚 程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	

(2-2)

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備 考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

(2-1)

該当なし

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m^3/s)	延長(m)		
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計
	農業用 排水施設		計				
小計							

(2-2)

該当なし

(第17表-4)

項 目	構 造	勾 配	主要構造物	備 考
水 路 名				
小計				

5. その他かんがい施設 該当なし

該当なし

(第17表-5)

項目 施設名	構 造	規 模	数 量	備 考

第2節 排水水門

該当なし

1. 排水水門

該当なし

(2-1)

(第18表－1)

項目 名称	位 置	形 式	構 造	内水位 (m)	外水位 (m)
計					

(2-2)

(第18表－1)

項目 名称	排水路 (m ³ /s)	備 考
計		

2. 排水機

該当なし

(2-1)

(第18表－2)

項目 名称	位 置	排 水 量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表－2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

(3) 排水路 該当なし

(2-1)

(第11表－4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造
		事 業 名					
		区画整理		計			
計							

(2-2)

(第11表－4)

項 目 名 称	排 水 本 川			備 考
	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
計				

第5節 道路計画

第3節 道路及び索道

(1) 道路の総括表

(第19表－1)

路線名	項目	幅 (有効)×延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
1号水兼農道	4.5	52.0	アスコンt=4cm		
2号水兼農道	4.5	284.8	アスコンt=4cm		
3号水兼農道	4.5	241.3	アスコンt=4cm		
4号水兼農道	4.5	54.9	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
5号水兼農道	4.5	71.6	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
6号水兼農道	4.5	63.4	アスコンt=4cm		
7号水兼農道	4.5	274.5	アスコンt=4cm		
8号水兼農道	4.5	240.5	アスコンt=4cm		
9号水兼農道	4.5	84.6	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
10号水兼農道	4.5	124	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
11号水兼農道	4.5	109.2	アスコンt=4cm		
12号水兼農道	4.5	97.0	アスコンt=4cm		
13号水兼農道	4.5	192.2	アスコンt=4cm		
14号水兼農道	4.5	135	アスコンt=4cm		
15号水兼農道	4.5	132.3	アスコンt=4cm		
16号水兼農道	4.5	233.1	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
17号水兼農道	4.5	134.5	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
18号水兼農道	4.5	138.7	アスコンt=4cm		
19号水兼農道	4.5	205.1	アスコンt=4cm	市道野原越19号線に接続	
20号水兼農道	4.5	183.4	アスコンt=4cm		
21号水兼農道	4.5	62.4	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
22号水兼農道	4.5	126.7	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
23号水兼農道	4.5	187.6	アスコンt=4cm		
24号水兼農道	4.5	128.3	アスコンt=4cm		
25号水兼農道	4.5	162.7	アスコンt=4cm		
26号水兼農道	4.5	122.3	アスコンt=4cm		
27号水兼農道	4.5	53.7	アスコンt=4cm		
28号水兼農道	4.5	115.5	アスコンt=4cm	市道宮原31号線に接続	
1号耕作道	4.0	234.8	コンクリート舗装t=10cm		
2号耕作道	4.0	251.7	コンクリート舗装t=10cm		
3号耕作道	4.0	220.4	コンクリート舗装t=10cm		
4号耕作道	4.0	148.7	コンクリート舗装t=10cm		
5号耕作道	4.0	189.9	コンクリート舗装t=10cm		
6号耕作道	4.0	185.8	コンクリート舗装t=10cm		
7号耕作道	4.0	156.8	コンクリート舗装t=10cm		
進入路-1	3.0	30.8	コンクリート舗装t=10cm		
進入路-2	3.0	36.3	コンクリート舗装t=10cm		
合計		5466.5			

(2) 道路主要構造物

(第19表－2)

項目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇所数 (箇所)	備 考

2. 索道 該当なし

(第19表－3)

項目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原動機		備 考
				形 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成 該当なし

1. 農用地造成 該当なし

(1) 抜根

(第20表－1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表－2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表－3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
区分	造成工法			
地目				
計				

(4) 地目交換

(第20表－4)

項目 区分	面積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表－5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表－6)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 土壌改良 該当なし

(第20表－7)

項目 区分	面 積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調整施設 該当なし

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路 該当なし

(1) 頭首工

(2-1)

(第21表-2)

名 称			位 置		
			堤 長 (m)		
形 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2)

(第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1)

(第21表-3)

項 目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計

(2-2)

(第21表-3)

項 目 水路名	構 造	勾 配	備 考

第6節 干拓施設

該当なし

1. 堤防 該当なし

(2-1)

(第22表-1)

項目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名 称	構 造		原地盤標高(m)		備 考
	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め 該当なし

(2-1)

(第22表-2)

項目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名 称	最大流速 (m)	床固め構造	備 考

3. 付属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

項目 区 分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m ³)	施工方法	構 造

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表－1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
瓦原	35.3	200 × 100	238,700	35.3	211,800	

(2) 末端用水路等

(第23表－2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

(第23表－3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
1号沈砂池	1基	748m ³	石積み側壁	
2号沈砂池	1基	335m ³	石積み側壁	
3号沈砂池	1基	958m ³	石積み側壁	
4号沈砂池	1基	158m ³	石積み側壁	
5号沈砂池	1基	53m ³	石積み側壁	
1号浸透池	1基	529m ³	石積み側壁	
2号浸透池	1基	4,115m ³	石積み側壁	
3号浸透池	1基	485m ³	石積み側壁	
4号浸透池	1基	444m ³	石積み側壁	
計	9基	7,825m ³		

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			集 水 渠			
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
			計				
計							

(3-2)

(第23表-4-1)

項 目 区 分	排 水 渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

項 目	集水渠出口以下の 排水施設		備 考
	構造	数量 (m/ha)	
区 分			
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項 目 区 分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備考
計					

3. 客土 該当なし

(2-1)

(第23表－5)

区 分	項 目	面 積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)
		事 業 名					
				計			
計							

(2-2)

(第23表－5)

区 分	項 目	運搬方法	備 考
計			

4. 除礫 該当なし

(第23表－6)

区 分	項 目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(2-1)

(第23表－7)

区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種
計					

(2-2)

(第23表－7)

区 分	項 目	植 栽 本 数 (本)	備 考
計			

(2) 排水路

(第23表－8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
計				

(3) 浸食防止工

(第23表－9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

1. 貯水池

該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km^2)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m^3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (km^3)	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m^3/s)	規模 (m)	備考	取水 施設	形式	取水量 (m^3/s)	備考

2. 堤体補強施設

該当なし

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	7	年度
完了	令和	12	年度

第8章 環境と調和への配慮

1. 事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、宮古島市農村環境計画を考慮した調査を実施し、環境への配慮に努めた計画とする。

2. 工事実施における配慮

工事実施においては、事業計画で定めた配慮事項を確実に実施することを念頭に、大気質・騒音・振動等の環境要素も含め、環境負荷を最小限に抑えるための工法を検討し、地区外への影響が出ないように留意して施行を行う。

3. 赤土等流出防止への配慮

工事実施においては、浸透池等の赤土等流出防止施設を先行して設置することにより、地区外への赤土等の流出を防止する等、「赤土等流出防止条例」に基づいた各種赤土等流出防止対策を重点的に行う。また、工事完了から農家に利用される間の裸地対策として、クロタリヤ等による速やかな畑面植生を施すとともに、畑の際にグリーンベルトを植栽し、農地からの赤土等流出防止に努める。

4. 貴重な動植物、文化財及び景観等への配慮

①植物の保全対策

当該地区は現況が一部原野を除き、ほとんどが農地である。文献等においては当該地域で貴重な植物は確認されていないことから、事業実施による影響はほとんどないと考えられる。

②動物の保全対策

宮古島市では貴重種の生息が数種確認されており、当該地区においても貴重種が生息している可能性はあるものと思われる。工事実施に伴い貴重種が確認された場合は、すみやかに近隣に移動する等の対策を講じることとする。また動物の保護対策として、計画地区を5カ年で整備完了するように造成区域を分割して、当該造成区域内に生息する動物の周囲への避難・回避を促す整備を図る。このように、事業実施にあたっては、生息状況を見ながら環境に配慮する事項について弾力的な対応を行うこととする。

5. 文化財への配慮

当該地区は、地区内に埋蔵文化財は認められないが、地域信仰の対象である御嶽が所在しているため、祭祀関係者及び土地所有者と調整を行うこととする。なお、開発に際して新規の遺跡の不時発見がなされた場合には宮古島市教育委員会と調整を行うこととする。

6. 景観への配慮

当該地区は、地区内及び近隣に名勝等は認められない。

7. その他の配慮

計画地周辺には集落が隣接しているので、工事に伴う騒音・振動や粉塵等が影響しないよう配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画の樹立に当たっては、特に農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化が図られるように、換地設計基準を定め、換地計画書を作成する。

第2節 換地区の設定 該当なし

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表－1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表－2)

換地区名	地積の基準
瓦原地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から6ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(4-1)

(単位:ha)

(第25表-3)

用 途 (取得予定者) 換地区名 前 後		非農用地区域外に換地する土地							
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施工地域に含める 土地(令第1条の9()書き)			計
						土地改良 施設	その他	小計	
瓦原	従前の 土地	-	37.0	1.9	1.2	-	-	-	40.1
	換地	-	35.3	-	-	-	-	-	35.3
合 計	従前の 土地	-	37.0	1.9	1.2	-	-	-	40.1
	換地	-	35.3	-	-	-	-	-	35.3

(4-2)

(単位:ha)

(第25表-3)

換地区名	用 途 (取得予定者) 前 後	非農用地区域外に換地する土地					非農用地区域に換地する土地		
		本事業によって生ずる土地改良 施設用地			創 設 農用地	合 計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
瓦原	従前の 土地	-	-	-	-	40.1			
	換地	-	4.8	4.8	-	40.1			
合 計	従前の 土地	-	-	-	-	40.1			
	換地	-	4.8	4.8	-	40.1			

(4-3)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域に換地する土地						
		異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計
			農業経営 合理化施 設用地	生活上・ 経営上必 要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等	計	
瓦原	従前の 土地	-						-
	換地	-	-	-	0.3	-	0.3	0.3
合 計	従前の 土地	-						
	換地	-	-	-	0.3	-	0.3	0.3

(4-4)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計
		国	県	市 町 村 他	合 計		
瓦原	従前の 土地	-	-	1.2	1.2	-	1.2
	換地	-	-	2.2	2.2	-	2.5
合 計	従前の 土地	-	-	1.2	1.2	-	1.2
	換地	-	-	2.2	2.2	-	2.5

3. 農用地集団化の方針

(第25表－4)

区 分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
瓦原	該当なし	各人の従前の土地がもつとも密集した位置を中心として、概ねその付近に定める。	2団地以内	1. 区画の設定は原則として長辺に沿って設定する。短辺部が農地利用に支障がないよう留意する。 2. 設定後は道路に沿うよう配慮する。

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(2-1)

(第25表－5)

区 分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m2)	換地の手法

(2-2)

(第25表－5)

区 分 換地地区	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準値よりの減点方式

2. 清算の方法 比例地積精算方式

第5節 換地計画書樹立の年度計画

(第25表－6)

区 分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
瓦原	令和7年度～ 令和12年度	令和12年度	令和12年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項により準用する第54条第2項のただし書きにより換地を行うことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区 分		区画整理 (百万円)	備 考
主 要 工 事		1,816	令和6年度単価
附 帯 工 事		—	
計		1,816	
関連事業 (参考)	国営	406	国営かんがい排水事業宮古伊良部地区 など
	都道府県営	907	畑かん 瓦原地区
	団体営	—	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
区 画 整 理	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	36,024	47,806	
		品質向上効果	5,321	5,321	
		営農経費節減効果	37,459	35,902	
		維持管理費節減効果	△ 3,525	△ 2,695	
		国産農産物安定供給効果	6,697	-	
	農業の接続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果	166	166	
		災害防止効果(農業)	-	-	
		農業労働環境改善効果	-	-	
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	-	-	
		地域用水効果	-	-	
		一般交通等経費節減効果	-	-	
		地籍確定効果	-	-	
		国土造成効果	-	-	
		非農用地等創設効果	-	-	
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)	-	-	
		水源かん養効果	-	-	
		景観・環境保全効果	109,477	-	学習機能、緊急水源、赤土流出防止効果
		その他効果	-	-	
				-	
	合 計		191,619	86,500	

区分		算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)		③=①+②	2,918,658 千円	
	当該事業による費用	①	1,484,123 千円	
	その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	1,434,535 千円	
年償還額		④	2,383 千円/年	
	うち機能向上分	④'	2,383 千円/年	
年総効果(便益費) 額		⑤	191,619 千円	
現況年総農業所得額		⑥	22,372 千円	
年増加農業所得額		⑦	86,500 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)			46 年	
割引率			0.04	
総便益額(現在価値化)		⑧	3,298,373 千円	
総費用総便益比		⑨=⑧/③	1.13	
総所得償還率		⑩=④/⑥×100	10.70 %	
増加所得償還率		⑪=④'/⑦×100	2.80 %	

第 1 2 章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容
異 種	国営かんがい排水事業(宮古)	国	7,805	水源整備
	公団営農用地等緊急保全整備事業	公団	7,805	水源整備
	皆福地下ダム	国	7,805	水源整備
	国営かんがい排水事業(宮古伊良部)	国	9,156	水源整備
	水利施設等保全高度化事業 (瓦原地区)	県	35.3	末端畑地かんがい施設

第 1 3 章 現況・計画平面図

1. 現況平面図 {別紙 現況土地利用図}

2. 計画平面図 {別紙 計画平面図}

3. 主要構造図 {別紙 主要構造図}